

下関市立美術館は この秋、30周年を迎えます



狩野芳崖《柳下鐘馗図》(部分)

下関市立美術館は、市制施行90周年の記念事業の一環として建設され、1983年11月19日に開館した芸術文化の拠点施設です。

市民待望の美術館が実現するに当たっては、下関出身の美術品収集家、故・河村幸次郎さんからの多数の美術品寄贈の申し出が大きな契機となりました。

現在2100点を超える所蔵品は、岸田劉生、藤田嗣治、高島北海などの近代絵画や古代オリエントの工芸品などを含む河村コレクションと、狩野芳崖、香月泰男をはじめとする地元ゆかりの画家たちの作品、松本竣介、岡鹿之助の代表作など、誇るべき多彩な内容となっています。これらの作品の一部は、所蔵名品選として現在展示中です。

市立美術館の活動の基本方針は、狩野芳崖をはじめとする下関ゆかりの優れた美術作家や、河村コレクションをよりどころにした近・現代の優れた美術作品の研究、収集、展示すること。下関にとどまらず、地



市立美術館 館長 濱本 聡

すぐれた芸術との出会いは 私たちの心を豊かにしてくれる

域性を超えた広い視野の企画展を開催すること。講演会や講座、さらに友の会活動などを通じ、市民の教養の向上や創作活動を支援すること、などです。

この基本方針を基に、これまで30年間、さまざまな展覧会や普及・研究活動などを通して市内外の多くの人たちに親しまれてきました。鑑賞の機会ばかりでなく、実技講座や市美展、市民ギャラリーなど、創作・発表活動の場としても大いに利用されています。美術館を別の角度からも親しんでいただくために友の会と共催して行うギャラリーコンサートは、これまでに165回開催し、全国的にも先駆的でレベルの高い内容が特色の一つです。



下記にも案内がある通り、11月には開館30周年を記念して「河村幸次郎と美の世界」展を開催し、記念講演会やギャラリーコンサートなども予定しています。この機会にたくさんの方に足を運んでいただき、身近にある素晴らしい美術品との出会いを楽しんでいただければ幸いです。

美術館は市民のかけがえのない宝物の一つです。皆さんとともにより大きく素晴らしいものにしていきたいと思います。今後ともご支援とご協力をお願いします。

開館30周年記念を記念して、所蔵名品選や特別展を開催します。

所蔵名品選「日本の近代絵画Ⅱ」

期10月20日(日)まで ※月曜休館
(10月14日は開館) 岡狩野芳崖、香月泰男他 期一般200円、大学生100円

芸術は魂のたべもの

河村幸次郎と美の世界

美術館所蔵品の核となる多数の美術品を寄贈された河村幸次郎さんは、実業家であるとともにすぐれた文化人でした。足跡を美術品や資料によってたどりま。

岸田劉生、梅原龍三郎、藤田嗣治、高島北海、香月泰男らの絵画や古代オリエント工芸品の他、文芸誌や郷土玩具「河豚笛」などの資料も紹介します。

期11月14日～12月23日
期一般800円(60円)／大学生600円(40円)
※()内は、20人以上の団体料金



岸田劉生《村娘之図》1919年
下関市立美術館蔵

近代自然主義絵画の成立 オランダ・ハーグ派展

19世紀オランダで、農村や海辺などの身近な自然とそこに暮らす人々の生活を写実的に描いた「ハーグ派」彼らに焦点をあてた、日本で初めての展覧会です。フランスのバルビゾン派や、ゴッホやモンドリアンの作品も含めた約70点の油彩画、ドローイングにより、近代ヨーロッパの自然主義絵画の流れを展覧します。
期平成26年1月4日～2月16日



ヤコブ・マリス《漁船》1878年
ハーグ市立美術館蔵
Collection Gemeentemuseum Den Haag,
The Hague, The Netherlands

開館記念、美術館を無料開放

30周年を記念し、11月14日から開館記念日の11月19日まで「河村幸次郎と美の世界」の観覧料を無料とします(11月18日は休館)。

期間中、講演会やギャラリーコンサートなどを予定しています。
期市立美術館 ☎245-4131